平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場会社名　浜松ホトニクス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6965　URL　http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 晝馬　明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 嶋津　忠彦　TEL 053-452-2141

四半期報告書提出予定日　平成25年5月13日　配当支払開始予定日　平成25年6月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	50,474	△0.5	8,483	△13.1	9,083	△10.8	5,731	△6.3
24年9月期第2四半期	50,726	△1.6	9,760	△12.1	10,180	△12.0	6,113	△11.9

(注)包括利益　25年9月期第2四半期　9,648百万円　(41.4%)　24年9月期第2四半期　6,824百万円　(△2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	71.29	―
24年9月期第2四半期	76.05	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	199,268	148,270	74.3
24年9月期	189,970	140,873	73.9

(参考) 自己資本　25年9月期第2四半期　148,046百万円　24年9月期　140,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	23.00	―	23.00	46.00
25年9月期	―	23.00			
25年9月期(予想)			―	23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,800	3.8	15,400	△12.4	16,100	△12.3	10,600	△5.4	131.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	83,764,984 株	24年9月期	83,764,984 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	3,370,063 株	24年9月期	3,370,025 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	80,394,943 株	24年9月期2Q	80,394,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は弱めに推移いたしましたが、期の後半には、為替・株式市場の好転等により企業マインドの改善の兆しも見られるようになりました。しかしながら、実体経済は未だに本格的な回復傾向は見られず、厳しい中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、光に関する研究開発を推進し、顧客ニーズに応えた新製品や将来必要となる新技術の開発に努める一方で、積極的な営業活動により、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第２四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、為替の影響もあり海外売上げは増加いたしましたが、国内売上げが減少いたしました結果、売上高は50,474百万円と前年同期に比べ251百万円（0.5%）の減少となりました。また、利益面につきましても、営業利益は8,483百万円と前年同期に比べ1,276百万円（13.1%）の減少、経常利益は9,083百万円と前年同期に比べ1,097百万円（10.8%）の減少、四半期純利益は5,731百万円と前年同期に比べ382百万円（6.3%）の減少となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔電子管事業〕

光電子増倍管は、医療機関における高額医療装置の導入が低調であった影響を受けて、ＰＥＴなどの核医学検査装置向けの売上げが減少するとともに、計測分野における油田探査装置向けの売上げも減少いたしました。しかしながら、血液分析などの検体検査装置向けの売上げが増加いたしました。イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、Ｘ線画像を可視像に変換するＸ線シンチレータの売上げが米国を中心に増加いたしました。しかしながら、産業分野におきまして、精密部品を高精度に接着するＵＶスポット光源及び各種ウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジンの売上げが設備投資抑制の影響を受けて減少いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は21,696百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は7,997百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

〔光半導体事業〕

光半導体素子は、産業分野におきまして、半導体検査装置向けのイメージセンサが北米を中心に売上げを伸ばしましたが、自動車の車内ネットワーク通信用のフォトＩＣが円高等の影響を受け売上げが減少いたしました。また、シリコンフォトダイオードが、医用分野及び産業分野におきまして、生産調整及び設備投資抑制の影響を受け売上げが減少いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は20,368百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は6,113百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

〔画像計測機器事業〕

画像処理・計測装置は、半導体故障解析装置が車載用パワーデバイス検査用の需要が増加したことで好調に推移いたしました。また、デジタルカメラも、昨年発売したORCA-Flash4.0がその性能を評価され売上げに寄与するとともにバイオ分野向けが好調に推移いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は6,964百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は1,038百万円（前年同期比107.0%増）となりました。

〔その他事業〕

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント（その他）の売上高は1,444百万円（前年同期比9.9%減）、営業損失は１百万円（前年同期は営業損失148百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産の主な変動は、現金及び預金が6,697百万円、受取手形及び売掛金が908百万円、たな卸資産が689百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ7,877百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、建設仮勘定及び土地の増加などにより、有形固定資産が806百万円増加したこと及び投資有価証券が時価評価により387百万円増加したことから、固定資産は前連結会計年度末に比べ1,420百万円増加しております。

この結果、当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9,297百万円増加し、199,268百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金は減少したものの、未払法人税等が1,479百万円、未払金（流動負債その他）が724百万円それぞれ増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,360百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、退職給付引当金が393百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ460百万円減少しております。

この結果、当第２四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ1,900百万円増加し、50,997百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が3,482百万円増加したほか、四半期純利益の計上により利益剰余金が3,879百万円増加したことなどから、当第２四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ7,397百万円増加し、148,270百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ6,757百万円増加し、42,522百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は10,778百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上などによるものであり、前年同期に得られた資金6,917百万円に比べ3,861百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は3,759百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得などによるものであり、前年同期に使用した資金3,527百万円に比べ231百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は1,999百万円となりました。これは主として、配当金の支払などによるものであり、前年同期に使用した資金1,814百万円に比べ184百万円の支出増となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、政府や日本銀行の政策により円高が是正されるなど、景気回復への期待はあるものの、その先行きについては不透明感が拭いきれない状況にあると認識しております。

平成25年９月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月12日付けで公表いたしました業績予想を、次のとおり修正いたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、１米ドル＝90円、１ユーロ＝120円を想定しております。

通期連結業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	101,800	16,700	17,000	11,400	141.80
今回修正予想（B）	101,800	15,400	16,100	10,600	131.85
増減額（B－A）	―	△1,300	△900	△800	―
増減率（%）	―	△7.8	△5.3	△7.0	―

（参考）通期個別業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	89,000	13,500	15,000	10,300	127.90
今回修正予想（B）	82,400	9,700	11,700	8,400	104.31
増減額（B－A）	△6,600	△3,800	△3,300	△1,900	―
増減率（%）	△7.4	△28.1	△22.0	△18.4	―

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,559	81,257
受取手形及び売掛金	23,469	24,378
商品及び製品	6,446	6,536
仕掛品	12,430	12,967
原材料及び貯蔵品	5,478	5,539
その他	4,747	4,326
貸倒引当金	△134	△132
流動資産合計	126,996	134,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,150	21,739
機械装置及び運搬具（純額）	7,808	7,831
工具、器具及び備品（純額）	3,180	3,509
土地	15,149	15,561
リース資産（純額）	239	238
建設仮勘定	2,831	3,285
有形固定資産合計	51,359	52,165
無形固定資産	1,669	1,851
投資その他の資産		
投資有価証券	2,004	2,392
繰延税金資産	6,372	6,365
その他	1,586	1,637
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	9,944	10,376
固定資産合計	62,973	64,393
資産合計	189,970	199,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,657	11,475
短期借入金	1,345	1,370
1年内返済予定の長期借入金	3,290	3,273
未払法人税等	1,321	2,800
賞与引当金	3,033	2,972
その他	9,020	10,138
流動負債合計	29,669	32,030

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年３月31日)
固定負債		
長期借入金	4,123	4,043
退職給付引当金	13,371	12,978
役員退職慰労引当金	1,370	－
その他	562	1,945
固定負債合計	19,427	18,966
負債合計	49,097	50,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	82,484	86,364
自己株式	△6,048	△6,048
株主資本合計	146,038	149,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	538
為替換算調整勘定	△5,892	△2,409
その他の包括利益累計額合計	△5,734	△1,871
少数株主持分	569	224
純資産合計	140,873	148,270
負債純資産合計	189,970	199,268

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	50,726	50,474
売上原価	24,947	25,368
売上総利益	25,779	25,106
販売費及び一般管理費	16,018	16,622
営業利益	9,760	8,483
営業外収益		
受取利息	63	66
投資不動産賃貸料	170	25
為替差益	57	362
持分法による投資利益	54	35
その他	195	203
営業外収益合計	540	692
営業外費用		
支払利息	55	51
不動産賃貸費用	44	21
その他	20	20
営業外費用合計	120	92
経常利益	10,180	9,083
特別利益		
固定資産売却益	9	10
補助金収入	625	49
投資有価証券売却益	－	46
特別利益合計	634	105
特別損失		
固定資産売却損	1	6
固定資産除却損	22	17
固定資産圧縮損	616	37
減損損失	424	－
特別損失合計	1,065	62
税金等調整前四半期純利益	9,749	9,127
法人税等	3,820	3,384
少数株主損益調整前四半期純利益	5,928	5,742
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△184	10
四半期純利益	6,113	5,731

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,928	5,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	380
為替換算調整勘定	830	3,475
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	49
その他の包括利益合計	895	3,906
四半期包括利益	6,824	9,648
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,012	9,594
少数株主に係る四半期包括利益	△188	53

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,749	9,127
減価償却費	3,977	3,906
賞与引当金の増減額（△は減少）	△528	△95
受取利息及び受取配当金	△81	△82
支払利息	55	51
持分法による投資損益（△は益）	△54	△35
売上債権の増減額（△は増加）	△646	723
たな卸資産の増減額（△は増加）	△142	703
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,694	△1,859
その他	1,103	253
小計	11,738	12,693
利息及び配当金の受取額	80	82
利息の支払額	△55	△51
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△4,845	△1,945
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,917	10,778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△480	53
有価証券の売却による収入	1,500	－
有形固定資産の取得による支出	△4,267	△3,471
その他	△280	△342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,527	△3,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	124	5
長期借入金の返済による支出	△96	△96
配当金の支払額	△1,775	△1,852
その他	△66	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,814	△1,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	368	1,737
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,942	6,757
現金及び現金同等物の期首残高	33,045	35,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,988	42,522

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,939	21,156	6,027	49,123	1,603	50,726	―	50,726
セグメント間の内部売上高又は振替高	602	324	31	959	98	1,057	△1,057	―
計	22,542	21,481	6,058	50,082	1,701	51,783	△1,057	50,726
セグメント利益又は損失（△）	8,363	7,358	501	16,224	△148	16,075	△6,315	9,760

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△6,315百万円には、セグメント間取引消去△303百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,011百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成25年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,696	20,368	6,964	49,029	1,444	50,474	―	50,474
セグメント間の内部売上高又は振替高	654	286	30	972	311	1,284	△1,284	―
計	22,351	20,655	6,995	50,002	1,756	51,758	△1,284	50,474
セグメント利益又は損失（△）	7,997	6,113	1,038	15,148	△1	15,147	△6,664	8,483

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△6,664百万円には、セグメント間取引消去△450百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,213百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。